

野原中学校 社会科 シラバス

3年間のねらい、学習目標

社会科では、地理・歴史・公民の3つの分野を通して、広い視野に立って社会に対する関心を高め、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を養い、国際社会に生きる国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うことを目標とする。

<第1学年>

学習到達目標

○地理的分野

- ・日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特徴を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
- ・日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
- ・大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- ・地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

○歴史的分野

- ・歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- ・国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- ・歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- ・身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

年間シラバス（1年間の学習予定表）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1 学 期	○地理的分野 第1編 世界のさまざまな地域 第1章 世界の姿 第2章 世界各地の人々の生活と環境	・世界の地域構成を大観し、地球規模での位置関係をとらえることができる。 ・大陸と海洋のおよその位置関係、州の名称と位置、主な国の名称と位置を理解することができる。 ・緯度・経度の概念、地球儀と地図の特徴と違いを理解することができる。 ・緯線・経線との位置関係に着目して、大陸の大まかな形状と位置をとらえることができる略地図を描くことができる。 ・世界各地の人々の暮らしの様子とその変容を、衣食住や宗教とのかかわりを中心に、自然的条件や社会的条件と関連付けて考察することができる。 ・世界各地の人々の暮らしや環境の多様性を理解することができる。 ・自分たちの暮らしや文化を絶対視することなく、世界各地の人々の多様な暮らしや文化を尊重する態度を身に付けることができる。 ・世界の気候・地形・都市の分布などを大観することができる。	【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・世界の地域構成に対する関心を高め、それを意欲的に追究している。 ・世界の略地図を描く活動に意欲的に取り組んでいる。 【社会的な思考・判断・表現】 ・世界の地域構成を、緯度・経度、大陸と海洋の分布、主な国の名称と位置などから考察し、その過程や結果を略地図などに適切に表現している。 ・州などの地域区分や州を幾つかに区分した地域区分をもとに世界を大観し、その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用の技能】 ・様々な資料から、世界の地域構成についての情報を適切に読み取っている。 ・読み取った情報を、図版や文章などに適切にまとめている。 ・緯線・経線との位置関係に着目して、大陸のおおまかな形状と位置を捉えることができる略地図を描いている。 ・地図帳の適切な活用方法を身に付けている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・大陸と海洋の分布、地域区分などを理解し、その知識を身に付けている。 ・主な国の名称と位置を理解し、その知識を身に付けている。 ・緯度・経度の概念や地球儀と地図の違いを理解し、その知識を身に付けている。

2 学 期	○歴史的分野 第1編 歴史のとりえ 方 第2編 古代までの日本 1 人類の始まりと文明 2 日本列島の人々と国家の形成 3 古代国家の展開	・小学校で学習した歴史上の人物や出来事・文化遺産について、ふり返ったりまとめたりする活動を通して、時代の区分や移り変わりに気づくことができる。 ・年代の表し方や時代区分について基本的な内容を理解することができる。 ・歴史を学ぶ意欲を高めることができる。 ・世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島での農耕の広まり、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていたことを理解することができる。 ・大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、天皇や貴族の政治が展開したことを理解することができる。 ・仏教の伝来とその影響など国際的な要素をもった文化が栄え、後に仮名文字など文化の国風かが進んだことを理解することができる。 ・学習したことを活用して、「古代までの日本」を大観し、その特色を表現することができる。	【社会的な事象への関心・意欲・態度】 - 世界各地の人々の暮らしの様子とその変容や環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究している。 - 世界各地の人々の多様な暮らしや文化を尊重する態度を身に付けている。 【社会的な思考・判断・表現】 - 世界各地の人々の暮らしの様子とその変容や環境の多様性を、自然的条件や社会的条件と関連付けて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 - 過去と現在の暮らしを比較して、人々の暮らしがどのように変容したかについて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用の技能】 - 様々な資料から、世界各地の人々の暮らしの様子とその変容や環境の多様性についての情報を適切に読み取っている。 - 読み取った情報を、図版や文章などに適切にまとめている。 【社会的事象についての知識・理解】 - 世界各地の人々の暮らしの様子とその変容や環境の多様性を、自然的条件や社会的条件と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 ◎世界には様々な宗教があり、宗教と関わりの深い生活が営まれていることや、世界の主な宗教の分布について理解し、その知識を身に付けている。 【社会的な事象への関心・意欲・態度】 - 日本の歴史上の人物、出来事、文化遺産など各時代の特色に関心をもち、歴史を意欲的に学ぼうとしている。 【社会的な思考・判断・表現】 - 日本の歴史上の人物、出来事、文化遺産など各時代の特色について考え、その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用の技能】 - 日本の歴史上の人物、出来事、文化遺産など各時代の特色に関するさまざまな資料を集め、有用な情報を適切に読み取り、図や表にまとめている。 【社会的事象についての知識・理解】 - 日本の歴史上の人物、出来事、文化遺産などを通して、各時代の特色を理解するとともに、日本の時代の移り変わりに気づき、年代の表し方や時代区分についての基礎的な内容を理解し、その知識を身につけている。 【社会的な事象への関心・意欲・態度】 - 世界の古代文明や宗教のおこり、日本における国家の形成、律令国家の確立と天皇や貴族の政治の展開、国際的な要素をもった文化と文化の国風化など、古代までの日本の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究しようとして古代までの日本の特色をとらえようとするとともに、古代までの日本の文化遺産を尊重しようとしている。 【社会的な思考・判断・表現】 - 世界の古代文明や宗教のおこり、日本における国家の形成、律令国家の確立と天皇や貴族の政治の展開、国際的な要素をもった文化と文化の国風化などについて、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用の技能】 - 世界の古代文明や宗教のおこり、日本における国家の形成、律令国家の確立と天皇や貴族の政治の展開、国際的な要素をもった文化と文化の国風化などに関するさまざまな資料を集め、有用な情報を適切に読み取り、図や表にまとめている。
-------------	---	---	--

			る。 【社会的事象についての知識・理解】 ・世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成され、天皇や貴族の政治が展開したことを理解し、身につけている。 ・天皇や貴族の政治が展開していくなかで、国際的な要素をもった文化から国風文化になっていったことを理解し、身につけている。
2 学 期	○地理的分野 第3章 世界の諸地域 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 6 オセアニア州	・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の基礎的・基本的な知識を習得し、各州の地域的特色を大観することができる。 ・世界の各州の基礎的・基本的な知識から主題を設定し、その追求を通してアジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の地域的特色を理解することができる。 ・地球儀や地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地誌的知識や概念の定着を図ることができる。	【社会的事象への関心・意欲・態度】 ・世界の各州に設定した主題を意欲的に追究している。 ・世界の各州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究している。 【社会的思考・判断・表現】 ・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の地域的特色を、各州に設定した主題をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用の技能】 ・様々な資料から、世界の各州の地域的特色についての情報を適切に読み取っている。 ・読み取った情報を、図版や文章などに適切にまとめている。 ・地図・景観写真からの地理的事象の読み取り方や、雨温図の読み取り方などを習得している。 【社会的事象についての知識・理解】 ・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の地域的特色を、各州に設定した主題をもとに理解し、その知識を身に付けている。
	第4章 世界のさまざまな地域の調査	・世界の地理学習のまとめとして調査学習を行い、世界の地理的認識を深めることができる。 ・世界の様々な地域または国の調査を行う際の視点や調べ方、まとめ方などの方法を身に付けることができる。 ・調べる国の興味・関心ある地理的事象を見だし、調査の主題を設定することができる。 ・文献資料・統計書・インターネット上の情報などを収集・選択し、有効に活用することができる。 ・調査結果を分析・整理してまとめ、発表することができる。	【社会的事象への関心・意欲・態度】 ・世界の様々な地域または国の調査に対する関心を高め、調べる国の地域的特色を意欲的に追究している。 ・適切な主題の設定、調査方法の吟味、資料の収集と選択、調査活動、調査結果のまとめ、発表などを意欲的に行っている。 【社会的思考・判断・表現】 ・調べる国の地域的特色をとらえる適切な主題を設定している。 ・世界の様々な地域または国の調査を行う際の視点や方法をもとに、調べる国の地域的特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用の技能】 ・調べる国に関する様々な資料を収集・選択し、その資料から、調べる国の地域的特色について、情報を適切に読み取っている。 ・読み取った情報を、図版や文章などに適切にまとめている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・世界の様々な地域または国の調査を行う際の視点や方法を身に付けている。 ・調べる国の自然環境・産業・文化・歴史的背景などを概観し、調べる国についての基礎的・基本的な知識を身に付けている。
3 学 期	○歴史的分野 第3編 中世の日本 1 鎌倉幕府の成立	・武家政治の特色について考え、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が全国に広まったという中世の特色を理解することができる。 ・元寇、日明貿易、琉球の国際的な役割について学習することを通して、日本が東アジア世界と密接なかかわりがあったことを	【社会的事象への関心・意欲・態度】 ・武家政権の成立とその支配の広まり、東アジア世界との密接なかかわり、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化など、中世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、中世の特色をとらえようとするとともに、中世の文化遺産を尊重しようとしている。

		理解することができる。 ・農業などの諸産業が発達したこと、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みが成立したこと、禅宗の文化的な影響などから、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解することができる。 ・学習したことを活用して、「中世の日本」を大観し、その特色を表現することができる。	【社会的な思考・判断・表現】 ・武家政権の成立とその支配の広まり，東アジア世界との密接なかかわり，武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化などから課題を見つけ，多面的・多角的に考察し，公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用技能】 ・武家政権の成立とその支配の広まり，東アジア世界との密接なかかわり，武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化などに関するさまざまな資料を集め，有用な情報を適切に読み取り，図や表にまとめている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・武家政権が成立してその支配が全国に広まったこと，東アジア世界との密接なかかわりがあったことを理解し，その知識を身につけている。 ・武家政治が展開するなかで民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたこと，中世の文化のなかに現代に結びつくものがみられることを理解し，その知識を身につけている。
3 学 期	2 室町幕府と下剋上 ○地理的分野 第2編 日本のさまざまな地域 第1章 日本の姿 第2章 世界からみた日本の姿 1 自然環境や災害・防災からみた日本	・地球儀や地図を活用して、世界的視野から国土の位置や領域の特色を理解することができる。 ・日本の様々な地域区分や、県の名称と位置、県庁所在地の名称を理解することができる。 ・地形図の約束事を理解し、読図能力を高めることができる。 ・緯線・経線との位置関係に着目して、日本のおおまかな形状と位置をとらえることができる略地図を描くことができる。	【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・日本の地域構成に対する関心を高め，それを意欲的に追究している。 ・日本の略地図を描く活動に意欲的に取り組んでいる。 【社会的な思考・判断・表現】 ・日本の地域構成を，国土の位置，世界各地との時差，領域の特色や領土問題，地域区分などから考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・7 地方区分や日本を幾つかに区分した地域区分をもとに日本を大観し，その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用技能】 ・様々な資料から，日本の地域構成についての情報を適切に読み取っている。 ・読み取った情報を，図版や文章などに適切にまとめている。 ・緯度・経度を使って，国土の絶対的位置や相対的位置をとらえている。 ・時差の計算方法を習得し，日本と世界各地の時差を正しく計算している。 ・緯線・経線との位置関係に着目して，日本のおおまかな形状と位置を捉えることができる略地図を描いている。 ・地形図の適切な活用方法を身に付けている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・日本の国土の位置，世界各地との時差，領域の特色や領土問題などを理解し，その知識を身に付けている。 ・県の名称と位置，県庁所在地の名称，地域区分などを理解し，その知識を身に付けている。 ・地形図の約束事を理解し，その知識を身に付けている。

<第2学年>

学習到達目標

○地理的分野

- ・日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域の特徴を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
- ・日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとかかわり度ととらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
- ・大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- ・地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

○歴史的分野

- ・歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- ・国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- ・歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- ・身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

年間シラバス（1年間の学習予定表）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1 学 期	第4編 近世の日本 1 中世から近世へ 2 江戸幕府の成立と東アジア 3 百姓・町人と産業の発達 4 幕府政治の改革と農村の変化 5 江戸時代の文化と学問 第2編 日本地理を学ぼう 第2章 世界から見た日本の姿	・織田・豊臣による統一事業を通して、日本の近世社会の基礎が作られたことを理解することができる。 ・江戸幕府の政治の特色を考えさせ、その支配のもとに生まれた社会が、その後長く続いたことを理解することができる。 ・ヨーロッパ文化の伝来や東南アジア各地への日本人の渡航など、対外関係が活発な時期から外国との交渉が限定された時期へと移っていったことを理解することができる。 ・身近な事例を取り上げてその特色を考えるを通して、産業や交通が著しく発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されたことに気づくことができる。 ・幕府の政治改革と政治の行き詰まりの原因について考えることができる。 ・学習したことを活用して、「近世の日本」を大観し、その特色を表現することができる。 ・世界的視野から日本を一つの地域として取り扱い、日本の国土の特色を理解することができる。 ・日本全体の視野からおおなかな国内の地域差に着目し、日本の国土の特色を理解することができる。 ・日本の地域的特色を、自然環境、人口、産業、資源、エネルギー、結びつきの面から理解することができる。	【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・織田・豊臣による統一事業のあらまし、江戸幕府と藩による支配、町人文化や各地方の生活文化、幕府政治のゆきづまりなど、近世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究して近世の特色をとらえようとするとともに、近世の文化遺産を尊重しようとしている。 【社会的な思考・判断・表現】 ・織田・豊臣による統一事業のあらまし、江戸幕府と藩による支配、町人文化や各地方の生活文化、幕府政治のゆきづまりなどの近世の歴史的事象から課題を見つけ、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用・技能】 ・織田・豊臣による統一事業のあらまし、江戸幕府と藩による支配、町人文化や各地方の生活文化、幕府政治のゆきづまりなど、近世の歴史的事象に関するさまざまな資料を集め、有用な情報を適切に読み取り、図や表にまとめている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・織田・豊臣による統一事業によって近世社会の基礎がつけられたこと、江戸幕府と藩による支配が確立したことを理解し、その知識を身につけている。 ・町人文化が都市を中心に形成され、各地方の生活文化が生まれたことや現代との結びつきを理解し、その知識を身につけている。 ・幕府政治が次第にゆきづまり、立て直しが進められたことを理解し、その知識を身につけている。 【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・日本の地域構成に対する関心を高め、それを意欲的に追究している。 ・日本の略地図を描く活動に意欲に取り組んでいる。 【社会的な思考・判断・表現】 ・日本の地域構成を、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色や領土問題、地域区分などから考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・7 地方区分や日本を幾つかに区分した地域区

	1 自然環境からみた日本 2 人口からみた日本 3 産業からみた日本 4 資源・環境からみた日本 5 結びつきからみた日本 第3章 日本の地方のようす 1 北海道地方のようす	・北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国・四国地方、九州地方の地誌を学習し、日本の国土に対する認識を深めることができる。 ・日本の各地方に考察の仕方を設定し、各地方の特色ある地理的事象や事柄を、他の事象と有機的に関連づけて追求し、北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国・四国地方、九州地方の地域的特色をとらえることができる。 ・地理的な見方・考え方や、地図や景観写真の読み取り方などの地理的技能を身に付けることができる。	分をもとに日本を大観し、その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用の技能】 ・様々な資料から、日本の地域構成についての情報を適切に読み取っている。 ・読み取った情報を、図版や文章などに適切にまとめている。 ・緯度・経度を使って、国土の絶対的位置や相対的位置をとらえている。 ・時差の計算方法を習得し、日本と世界各地の時差を正しく計算している。 ・緯線・経線との位置関係に着目して、日本のおおまかな形状と位置を捉えることができる略地図を描いている。 ○地形図の適切な活用方法を身に付けている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・世界的視野からみた日本の国土の特色について理解し、その知識を身に付けている。 ・日本全体の視野からおおまかな国内の地域差について理解し、その知識を身に付けている 【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・日本の各地方に設定した考察の仕方にもとづき、各地方の特色ある地理的事象や事柄を意欲的に追究している。 ・日本の各地方の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究している。 【社会的な思考・判断・表現】 ・北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国・四国地方、九州地方の地域的特色を、各地方に設定した考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
2 学 期	2 東北地方のようす 3 関東地方のようす 4 中部地方のようす 5 近畿地方のようす 6 中国・四国地方のようす 7 九州地方のようす 第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代化 1 欧米の発展とアジアの	・欧米諸国が市民改革や産業革命によって近代社会を成立させて、アジアへ進出したことを理解することができる。 ・新政府の改革の特色を考え、明治維新によって近代国家の基礎が整えられたことや、人々の生活が大きく変化したことを理解することができる。 ・文憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日清・日露戦争、条約改正などによって日本の国際的地位が向上したことを理解することができる。 ・日本で近代産業が発展し、近代文化が形	【資料活用の技能】 ・様々な資料から、日本の各地方の地域的特色についての情報を適切に読み取っている。 ・読み取った情報を、図版や文章などに適切にまとめている 【社会的事象についての知識・理解】 ・北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国・四国地方、九州地方の地域的特色を、各地方に設定した考察の仕方をもとに理解し、その知識を身に付けている 【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出、日本の開国とその影響、明治維新以降の日本の近代国家の形成、日清・日露戦争や条約改正による国際的な地位の向上、近代産業の発展と近代文化の形成、近代化の過程における人々の生活の大きな変化などに対する関心を高め、意欲的に追究して近代の特色をとらえようとし、国際協調の大切さを考えようとする。 【社会的な思考・判断・表現】 ・欧米諸国における近代社会の成立とアジアへ

	植民地化	成された原因や、それによって都市や農村の生活にどのような変化が生じたのかを理解することができる。 ・学習したことを活用して、「日本の近代化」を大観し、その特色を表現することができる。	の進出、日本の開国とその影響、明治維新以降の日本の近代国家の形成、日清・日露戦争や条約改正による国際的な地位の向上、近代産業の発展と近代文化の形成、近代化の過程における人々の生活の大きな変化などについて課題を見だし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用の技能】 ・欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出、日本の開国とその影響、明治維新以降の日本の近代国家の形成、日清・日露戦争や条約改正による国際的な地位の向上、近代産業の発展と近代文化の形成、近代化の過程における人々の生活の大きな変化などに関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・近代社会を成立させた欧米諸国がアジアへ進出したこと、日本の開国とその影響、明治維新以降の日本の近代国家の形成、日清・日露戦争や条約改正による国際的な地位の向上について理解し、その知識を身につけている。 ・日本で近代産業が発展し、近代文化の形成されたこと、近代化の過程で人々の生活に大きな変化が生じたことを理解し、その知識を身につけている。
3 学 期	2 近世から近代へ 3 近代国家へのあゆみ 4 自由民権運動と国会開設 5 日清・日露の戦争と東アジアの動き 6 近代日本の社会と文化		

〈第3学年〉

学習到達目標

○歴史的分野

- ・歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- ・国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- ・歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- ・身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を

多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

○公民的分野

・個人の尊厳と人権の尊重の意義、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を養う。

・民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動のかかわり及び現代の社会生活について、社会についての見方・考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。

・世界平和の実現と人類の福祉のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることの自覚を育てる。

・現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を収集・選択して多角的・多面的に考察し、公正に判断するとともに、適切に表現する能力と態度を育てる。

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1	【歴史的分野】 2 近世から近代へ 3 近代国家へのあゆみ 4 自由民権運動と国会開設 5 日清・日露の戦争と東アジアの動き 6 近代日本の社会と文化 第6編 現代の日本と世界 第1節 平和と民主化への動き 第2節 国際化する世界と日本	・新政府の改革の特色を考え、明治維新によって近代国家の基礎が整えられたことや、人々の生活が大きく変化したことを理解することができる。 ・文憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日新・日露戦争、条約改正などによって日本の国際的地位が向上したことを理解することができる。 ・日本で近代産業が発展し、近代文化が形成された原因や、それによって都市や農村の生活にどのような変化が生じたのかを理解することができる。 ・学習したことを活用して、「日本の近代化」を大観し、その特色を表現することができる。 ・第二次世界大戦後の諸改革の特色を考え、世界の動きのなかで日本の民主化と再建、国際社会への復帰など新しい日本の建設が進められたことについて理解することができる。 ・日本の経済や科学技術が急速に発展して、国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解することができる。	【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出、日本の開国とその影響、明治維新以降の日本の近代国家の形成、日清・日露戦争や条約改正による国際的な地位の向上、近代産業の発展と近代文化の形成、近代化の過程における人々の生活の大きな変化などに対する関心を高め、意欲的に追究して近代の特色をとらえようとし、国際協調の大切さを考えようとする。 【社会的な思考・判断・表現】 ・欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出、日本の開国とその影響、明治維新以降の日本の近代国家の形成、日清・日露戦争や条約改正による国際的な地位の向上、近代産業の発展と近代文化の形成、近代化の過程における人々の生活の大きな変化などについて課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用・技能】 ・欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出、日本の開国とその影響、明治維新以降の日本の近代国家の形成、日清・日露戦争や条約改正による国際的な地位の向上、近代産業の発展と近代文化の形成、近代化の過程における人々の生活の大きな変化などに関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・近代社会を成立させた欧米諸国がアジアへ進出したこと、日本の開国とその影響、明治維新以降の日本の近代国家の形成、日清・日露戦争や条約改正による国際的な地位の向上について理解し、その知識を身につけている。 ・日本で近代産業が発展し、近代文化の形成されたこと、近代化の過程で人々の生活に大きな変化が生じたことを理解し、その知識を身につけている。 【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・戦後の日本の再建と国際社会への復帰、高度経済成長の到来と国民生活の向上などについて、世界の動きと関連させ現代の特色をとらえようとするとともに、国際社会における日本の役割を積極的に考えようとしている。

		・日本の歴史の大きな流れを振り返り，広い視野に立って日本の伝統と文化の特色を考えることができる。 ・学習したことを活用して，「現代の日本」を大観し，国際社会に日本の役割について表現することができる。	【社会的な思考・判断・表現】 ・戦後の日本の再建と国際社会への復帰，高度経済成長の到来と国民生活の向上などについて，現代の特色などを多面的・多角的に考察し，判断して，その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用の技能】 ・戦後の日本の再建と国際社会への復帰，高度経済成長の到来と国民生活の向上などに関する資料を収集し，情報を適切に読み取っている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・戦後の日本の再建と国際社会への復帰，高度経済成長の到来と国民生活の向上について，世界の動きと関連して理解し，その知識を身につけている。
1	【公民的分野】 第1編 私たちと現代社会 第1章 私たちが生きる現代社会と文化 第1節 私たちが生きる現代社会の特色 第2節 現代社会の文化と私たち 第2章 現代社会をとらえる見方や考え方 第1節 現代社会をとらえる見方や考え方	・現代日本の社会には少子高齢化，情報化，グローバル化などの特色が見られ，政治，経済，国際社会に影響を与えていることを理解することができる。 ・物事の決定の仕方やきまりなどの社会生活に見られる事例について，それらの意義を考えることができる。 ・対立と合意，効率と公正といった見方や考え方をを用いて，現代社会をとらえることができる。 ・様々な社会集団の一員として，社会契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について気付くことができる。	【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・現代日本の社会にはどのような特色が見られるのか，どのような伝統や文化の影響を受けているのか，様々な社会集団の一員として，決定の仕方，きまりの意義に対する関心を高め，意欲的に学習している。 【社会的な思考・判断・表現】 ・少子高齢化，情報化，グローバル化が政治，経済，国際関係に影響を与えていることについて多面的・多角的に考察している。 ・対立と合意，効率と公正の見方や考え方をを用い，多面的・多角的に考察している。 【資料活用の技能】 ・現代日本の社会の特色や我が国の伝統と文化に関する様々な情報を選択して，読み取っている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・少子高齢化，情報化，グローバル化といった現代日本の特色，現代社会における文化の意義や影響を理解し，その知識を身につけている。 ・対立と合意，効率と公正の概念について理

			解している。
2	第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法 第1節 法に基づく政治と日本国憲法 第2節 日本国憲法と基本的人権 第3節 日本の平和主義	・人間らしく生きるために生ずる意見や利害の対立の調整のため政治が必要であることを理解できる。 ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解することができる。 ・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考察することができる。 ・日本国憲法の基本原則を具体的な生活との関わりから理解することができる。 ・天皇の地位と国事に関する行為について理解することができる。	【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・民主主義や、法や法に基づく政治と基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方に対する関心を高め、民主的な社会生活について考えようとしている。 【社会的な思考・判断・表現】 ・日本国憲法によって国民の自由と権利が守られ、基本的人権の保障とその課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【資料活用の技能】 ・民主主義や人間の尊重についての考え方と法に関する資料を収集し、情報を適切に選択して、読み取っている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・日本国憲法の基本原則を理解し、その知識を身に付けている。 ・天皇の地位と国事に関する行為について理解し、その知識を身に付けている。
	第2章 国民主権と日本の政治 第1節 民主政治と政治参加 第2節 くらしを支える地方自治 第3節 国の政治のしくみ	・議会制民主主義や地方自治の意義や仕組みについて理解することができる。 ・住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識をもつことができる。 ・法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解することができる。 ・民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えることができる。	【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、国や地方公共団体の仕組みや考え方について意欲的に学習している。 【社会的な思考・判断・表現】 ・議会制民主主義が我が国の政治の原則になっていること、主権者として主体的に政治に参加することの意義について多面的・多角的に考察している。 【資料活用の技能】 ・議会制民主主義や地方自治について資料を活用し、読み取っている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・地方自治の考え方、地方公共団体の政治の仕組み、我が国の民主政治の仕組み、政党の役割、多数決の原理、法に基づく公正な裁判について理解している。

3	第3編 私たちの生活と経済 第1章 消費生活と経済のしくみ 第1節 暮らしと経済 第2節 市場のはたらき 第2章 生産のしくみと金融 第1節 生産と企業 第2節 金融とお金の価値 第3節 働く人をめぐる問題 第3章 財政と国民の福祉 第1節 政府の仕事と財政 第2節 私たちの生活と政府のはたらき	・市場経済において家計や企業が生産・消費の選択が、価格において人的・物質的資源を効率よく配分する働きがあることを理解することができる。 ・財やサービスをつくりだす生産が、家計によって提供される労働やその他資源を投入して企業を中心に行われていることを理解することができる。 ・家計や企業における経済活動に果たす金融のはたらきを理解することができる。 ・市場のはたらきにゆだねることが難しい問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考え、財源の確保と配分の観点から、財政の役割と、租税の意義について考えることができる。	【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・個人の消費生活や企業の役割に対する関心を高め、個人の消費生活や企業のあり方を考えようとしている。 【社会的な思考・判断・表現】 ・価格や企業、金融の働き、市場経済や財政の機能、なぜそれぞれの仕組みがあるのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【資料活用の技能】 ・経済に関わる資料を適切に選択して、読み取っている。 【社会的事象についての知識・理解】 ・経済活動について、消費・生産・財政を中心に理解し、その知識を身に付けている。 ・価格や金融の働きに着目し、市場経済の基本的な考え方について理解し、その知識を身に付けている。
	第4編 現代の国際社会 第1章 国際社会と人類の課題 第1節 国家と国際社会 第2節 地球環境への人類の取り組み	・国家間相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力、国連をはじめとする国際機構の役割が大切であることを理解することができる。 ・国際社会における我が国の役割について、日本国憲法の平和主義と我が国の安全と防衛、核兵器などの脅威など世界平和に関わる問題について考察するとともに、世界平和を確立するための熱意と協力の態度をもつことができる。	【社会的な事象への関心・意欲・態度】 ・国際理解と国際協力に対して積極的に取り組む意欲を高めている。 【社会的な思考・判断・表現】 ・グローバル化してきた国際社会における我が国の役割、日本の国際貢献、世界平和や地球環境、資源・エネルギー、貧困などに関わる課題を見いだし、表現することができる。 【資料活用の技能】 国際社会の活動に関する資料を収集し、選択して、読み取っている。

		・エネルギー資源の問題や地球規模の環境問題について，持続可能な社会の観点を踏まえて理解し，問題の解決に向けて考えることができる。	【社会的事象についての知識・理解】 ・国際政治は，全ての国家の主権が相互に尊重されなければならないこと，地球環境，資源・エネルギー，貧困な課題に対しては，経済的，技術的な協力が必要であることを理解し，その知識を身に付けている。
--	--	---	--